

OZ オーゼット ハイパーGT HLT

HyperGT HLT



レーステクノロジー満載の市販版GT3ホイール

OZがOEM供給しているGT3マシン用のホイールをストリート向けにアレンジしたハイパーGT HLTが満を持して登場。市販版は高い安全性を確保しTÜF規格をパス、その上でレースホイール同様の技術が多数採用された高性能モデルだ。

リポート | 太田 輝 | A.Ota フォト | 柳田由人 | Y.Yanagida
問い合わせ先=オーゼットジャパン ☎053-469-5011 www.oz-japan.com/



アウトバインの超高速走行も視野に

OZが、鍛造技術と共に、誇るHLTテクノロジーを駆使して作られたハイパーGT HLTがリリースされた。

このHLTテクノロジーとは、すでに同社のホイールに数多く採用されている技術で、一般的にはフローフォーミング加工と呼ばれる。これはどういうものかという、鍛造したホイールのリムをスピニングマシンで加圧して成形し、リムの金属組織を密にさせることで強度を高め薄肉化と軽量化を実現させる技術だ。

さらに、通常は鍛造という重力量造を行なう。加熱してドロドロに溶かしたアルミ合金を型に流し込んで固める手法だ。もっとも

スポーク側面にはボケットというねじれ剛性と軽量性向上のための加工が。センター部に入ったローズマーキングと呼ばれるスリットは強度を落とさず軽量化を実現。スポークとリムの接合部は空力向上のために膨らんでいる。

コストがかからない反面、金属分子の偏りや気孔が入りやすくホイールの強度や剛性に影響が出やすい。OZでは、溶けたアルミ合金に低圧ガスを加えながら金型に充填する低圧鍛造という方法を採用しており、重力鍛造のデメリットを最小限に抑え込んでいる。

鍛造の弱点を補う製法と、強度と軽量性を向上させる加工の組み合わせで、ハイパーGTは発売開始直後から世界中で人気の軽量レーシングホイールとなった。

デザインはOZがOEM供給しているF1 A GT3用ホイールに由来する。スポークの配置やスポークサイドのスリットなどはエアロダイナミクスや高剛性化、軽量化に直結している。例えば、スポーク側面に設けられたボケットと呼ばれる加工はF1から得られた技術で、軽量化と同時に最大限のねじれ剛性アップに貢献している。また、レーシングアウトターリップと呼ばれる構造は、剛性を高める効果とリムとスポーク結合部を膨らませることで空力を向上させる特性とを担っている。スポーク

HyperGT HLT



◎サイズ/価格
17inch×7.5 / 61,020円
18inch×7.0~8.0 / 74,160~78,300円
19inch×8.0~8.5 / 95,580~99,900円
20inch×9.5~10.5 / 113,940~116,100円
◎カラー: スターグラファイト
◎対応車種: BMW /
アウディ / VW /
その他国産等

ク付け根に入れられたスリットはローズマーキングと呼ぶGT3やLMマシンからフィードバックされた技術で、強度を落とすことなくホイールセンター部の重量を低減させるための加工だ。

そして、クオリティが世界基準であることも重要だ。世界中で販売する製品としてアウトバインを超高速で走ることも視野に入れTÜF規格も取得している。ハイパーフォーマンズのレーシングホイールであっても、安全性が確保されているのはいうまでもない。

実際にVWポロに装着してみた。奇をてらはないシンプルな10本スポークデザインのハイパーGT HLTは、面構成の複雑なボディのクルマとも見事にマッチしそうだ。

